*[The link bar feature is not available in this web]*

# 良くある質問集（FAQ）

## 一般トピック

### EchoLinkで何が出来るの?

もしあなたが正規の免許を受けているアマチュア局であれば、EchoLinkを使ってあなたの局（若しくはパソコン）とインターネットを通じて同じソフトを使っている他のアマチュア局と繋がる事が出来ます。全てのEchoLinkユーザーはコールサインと（ノード）番号で登録されて、ソフトを走らせると全ての現在ExchoLinkシステムにログ・オンしている局のリストが表示されます。システムにログ・オンしているいかなる2局間同士で互いに接続が可能で「音声QSO]が可能となります。

### どうやって始めたらいいの?

最初に、ソフトウエアをここ download からダウンロードします。あなたのコールサインとe-mailアドレスの入力が要求されます。次に、ソフトウエアをパソコンにインストールして、安定したインターネット接続環境（ダイヤルアップ56K若しくはそれ以上の環境）がある事を確認下さい。初めてEchoLinkを立ち上げる時、あなたのコールサインとパスワードをバリデート（有効化）すべく自動的に「バリデーション要求」のダイアログになります。このバリデーション・プロセスのリクエストがレビューされてバリデートされ次第（通常一日以内）、もう準備はOKです！

### 別にシス・オペ版のソフトは有るの？

EchoLinkとしては"ユーザー・モード"でも"シス・オペ・モード"でも運用の出来るソフトで1種類しかありません。"シス・オペ・モード"に選択変換する事でパソコンのサウンドカードとWB2REMやVA3TO、West Mountain Radio等と云ったポピュラーなインターフェイスを用いてEchoLinkとトランシーバーを繋ぐ必要な機能を使うことが出来ます。詳細は Interfaces を参照下さい。

### セキュリティー機能は？

バリデーション終了後、全てのEchoLinkユーザーはログ・インするのにあたってはコールサインと共にパスワードが必要となります。毎回通信の接続がなされる度、EchoLinkサーバーは通信コミュニケーションが行われる前に送り（送信）側と受け（受信）側を確認します。

ご希望であれば、EchoLinkを一定の種類の局（例えばリピーター、リンクRFゲートウェイ局、PCユーザー局、若しくはその3種類全て）の接続許可を与えるコンフィギュレーションに設定が可能です。また、国際コールサイン・プリフィックスにそって、あなたの国との相互運用協定や第三者運用の供与に関する制限に合致すべく、接続をブロックしたり許可したりする事も可能です。

「シス・オペ・モード」ではデフォールトでEchoLinkソフトが接続した時にコールサインのアナウンスをします。

### リモート遠隔操作は?

拡張リモート機能として、EchoLinkはいかなるインターネットに接続されたパソコンからもコマンドを受け取れるようにセットアップする事の出来る「パスワード・プロテクト付きのWebサーバー機能」を搭載しています。基本機能として遠隔操作でリンクの切断、接続局の切断、現在利用者のモニターが出来ます。無線RFリンク上でDTMFの基本コマンド及び拡張コマンドもサポートします。例えば接続したい局のコールサインやノード番号のキー・イン接続が可能です。

### ウインドウズ以外のOSプラットフォームでは？

EchoLinkはマイクロソフト・ウインドウズでの動作設計となっています。現在の所、他のOSプラットフォームでのバージョンのEchoLinkの計画は有りません。

しかしながら、マック OS X 環境下ではN9YTY製作のEchoLinkサーバー完全対応の EchoMac が動作します。ご利用になるのであればこちら here から登録してバリデーションのプロセスに入って下さい。（ EchoMac のサポートはEchoLinkのサイトでは対応できませんのでご了承下さい。）

### 寄付や心付けは受け取りますか？

ボランティア諸氏の時間と才能と言った甚大なご努力を頂戴しており、幸いにも、現在の出費としてはハードとソフトのメンテ費用のみとなっています。これは現在バニティ・ノード番号・プログラム Vanity Node Number program による資金運営となっています。